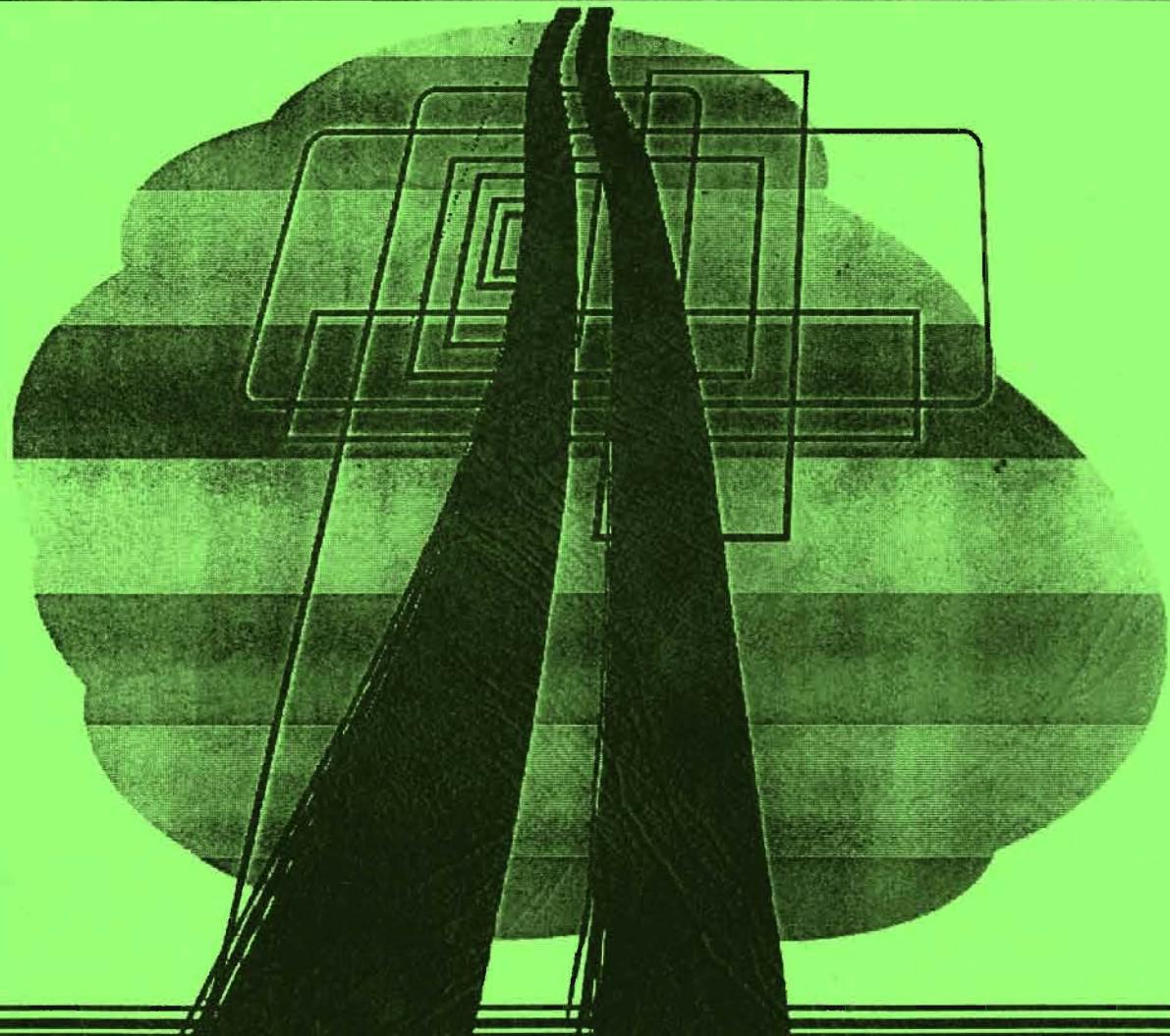


早稲田大学

まちづくりシンポジウム

2000



ポスト団塊の世代のマイヤーが描く  
分権と市民参加の都市像

## 脱自動車都市

—21世紀・都市はどこまで自動車を減らせるか—

### 主催

早稲田大学まちづくりシンポジウム実行委員会

### 共催

早稲田都市計画フォーラム

早稲田大学専門学校

早稲田大学理工学総合研究センター・参加のまちづくりプロジェクト研究室

### 後援

日本都市計画学会

日本都市計画家協会

稻門市長会

稻門町村長会

# 第6回 早稲田メイヤーズ会議

## 『ポスト団塊の世代のメイヤーが 描く分権と市民参加の都市像』

2000.7.15 SAT 13:00-18:00

良くも悪くも、戦後のわが国の価値観を築き上げてきたいわゆる団塊の世代が社会の第一線をリタイアする21世紀初頭、彼らの後塵を拝してきたポスト団塊の世代はいかなるビジョンをもって新世紀を切りひらこうとしているのか。2000年という時代を画する年に地方分権一括法が施行され、今後は自治体の裁量によってまちづくりがすすめられることになる。世界的にリーダーの若返りがすすむ中、時代の節目にあたり、今年の早稲田メイヤーズ会議では、次世代のわが国の自治の旗手である若きメイヤーたちにその抱負と政策を問いたい。

### 早稲田大学国際会議場（旧安部球場）

新宿区西早稲田1-20-14 地下鉄東西線早稲田駅より徒歩10分

◆参加費 5000円（7/16の公開シンポジウムと共通・資料代込） 学生無料

◆申込 参加者の氏名・連絡先などを書いて下記宛にお申し込みください。当日参加も受け付けております。  
tel 03-5286-3398 fax 03-5272-9975 E-mail: akamatsu@mn.waseda.ac.jp (担当・赤松)

○主催 早稲田大学まちづくりシンポジウム実行委員会

○共催 早稲田都市計画フォーラム、早稲田大学理工学総合研究センター・参加のまちづくりアドバイザリ研究室

○後援 早稲田大学、早稲田大学専門学校、(社)日本都市計画学会、自治体学会、都市計画家協会

稻門市長会、稻門町村長会

### Program

#### 0. あいさつ

戸沼幸市（早稲田大学まちづくりシンポジウム実行委員長・早稲田大学理工学部教授）

寄本勝美（早稲田大学副学長・政治経済学部教授）

#### 1. 基調講演「まちづくりを科学する」

田村明×佐藤滋

（法政大学名誉教授）（早稲田大学理工学部教授）

#### 2. メイヤーズ会議

五十嵐勇（千葉県本塙村町長）

石川良一（東京都稻城市長）

尾形勝通（宮城県高清水町長）

中司宏（大阪府枚方市）

松崎秀樹（千葉県浦安市）

●コメンテーター

松浦幸雄（群馬県高崎市長）

藤原まり子（株式会社博報堂生活総合研究所）

政所利子（株式会社 玄）

●コーディネーター

後藤春彦（早稲田大学理工学部教授）

早田宰（早稲田大学社会科学部助教授）

2000



## 第8回 公開シンポジウム

## 『脱自動車都市』

—21世紀・都市はどこまで自動車を減らせるか—

2000.07.16(Sun)

早稲田大学国際会議場（旧安部球場）

20世紀の後半、自動車の保有と利用は、都市の居住、活動から空間構成に至るまで、都市地域にきわめて大きな影響を与えてきた。その結果、もはや自動車なしに都市の活動と生活を営むことは難い。しかしながら、車のモビリティは市街地を低密度に拡大させ、集中する自動車交通を受け入れられない中心市街地に衰退をもたらしている。同時に、大量の自動車による人と物の移動は、都市全体のモビリティの低下と環境へ過大な負荷をもたらしている。

一方、都市地域では、成長から安定へ、また多くの価値観が多様化し変化するなかにあって、環境に優しい活気のある都市地域への再構築が問われている。車両技術の改善、代替エネルギー等、自動車とその利用に関する様々な工夫は、真に21世紀の豊かで環境に優れた都市地域の実現をもたらすであろうか。むしろ、いかに自動車への依存から開放された都市の空間構成と都市交通システムへと再構築していくかが、21世紀の都市づくりに科せられた課題である。

本シンポジウムは自動車からの開放を目指した都市づくりと交通システムについて、世界の都市での様々な試みも題材に取り上げつつ、その在りようと実現に向けての課題を探りたい。

## P R O G R A M Y2K

10:00～10:10	開会・シンポジウム趣旨説明	倉田 直道 (工学院大学)	井深ホール
10:10～11:05	基調講演	横島 庄治 (高崎経済大学)	井深ホール
11:05～12:10		Peter Newman (Murdoch Univ.)	
12:10～12:30	現状認識	浅野 光行 (早稲田大学)	井深ホール
	主会場	脱自動車都市 成功へのイメージ	井深ホール
13:30～17:30	分科会A	いかに再構築をはかっていくか -都市構造の再構築、総合的な都市交通体系の再構築-	3F第1会議室
	分科会B	今後の都市生活にふさわしい車の使い方、乗り物の技術	3F第2会議室
	分科会C	実現への道 -新たな都市交通政策-	3F第3会議室

主催 早稲田大学まちづくりシンポジウム実行委員会

共催 早稲田都市計画フォーラム、早稲田大学理工学総合研究センター

後援 早稲田大学、早稲田大学専門学校、(社)日本都市計画学会、(社)都市計画家協会、

稲門市長会、稲門町村長会、早稲田大学モビリティ研究会、自治体学会

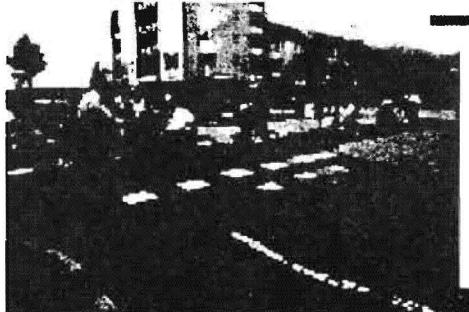
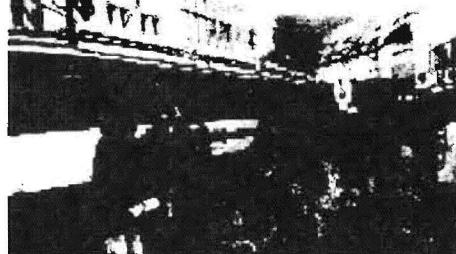
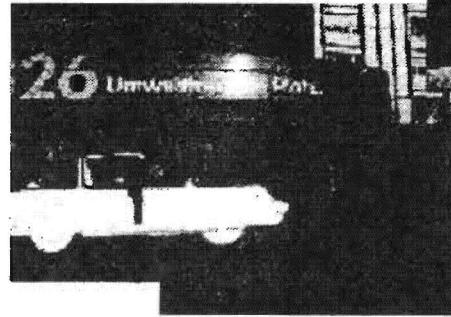
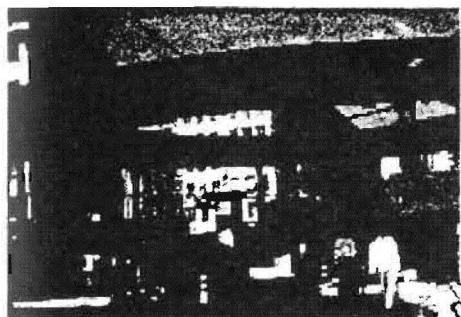
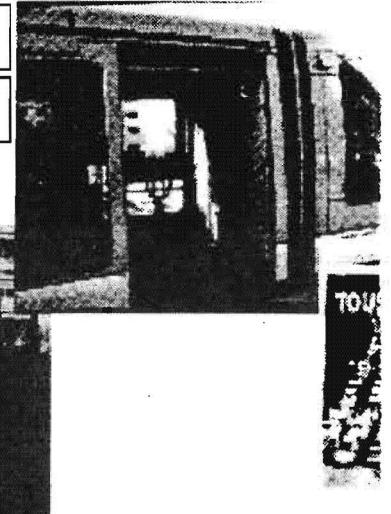
10:00～12:30

## 全体会議 「21世紀、脱自動車都市へのプロローグ」

今、21世紀における新しい都市像が求められている。世界各国での新しい都市像を模索する取り組みは、「生活の質の向上」と「持続可能なコミュニティの形成」がその目標として大きな位置を占める。脱自動車都市を目指す取り組みは、新しい時代の持続可能な都市づくりのパラダイムを象徴する取り組みの一つであり、次代の都市像の一つの側面でもある。全体会議では、次代の都市像の方向を探るとともに、その一つの姿である脱自動車都市の背景と可能性について明らかにする。



10:00～10:10	開会・シンポジウム趣旨説明	倉田 直道 (工学院大学)
10:10～11:05	基調講演	横島 庄治 (高崎経済大学)
11:05～12:10		Peter Newman (Murdoch Univ.)
12:10～12:30	現状認識	浅野 光行 (早稲田大学)

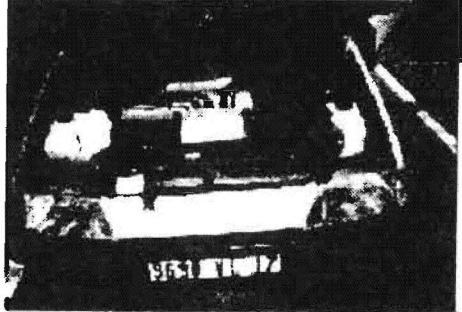


13:30～17:30

## 主会場 「脱自動車都市 成功へのイメージ」

脱自動車都市とはどのような都市だろうか。自動車が単に少なくなった世界と考えるほど単純ではないだろう。「自動車を減らすことの意味は何か」、「本当にどこまで減らせることができるか?」、脱自動車都市を目指して、広範な分野で多様な取り組みが国内外の各地でチャレンジされている。ここでは、先進的な取り組みを行っている都市から成功のイメージを探る。

コーディネーター	卯月盛夫 (早稲田大学専門学校) 長山勝英 (パシフィックコンサルタンツ・インターナショナル)
ストラスブルール	都築 正 (日本交通計画協会)
フライブルグ	卯月盛夫 (早稲田大学専門学校)
岡山市	岡 将男 (路面電車と都市の未来を考える会「RACDA」会長)
浜松市	野中忠夫 (浜松市都市計画部)
ポートランド	後藤太一 (アバンアソシエイツ)
クリティーパ	南條洋雄 (南條設計室)
ボウルダー	村山友宏 (地域デザイン・歩行都市研究所)



13:30～17:30 分科会A 「いかに再構築をはかっていくか」  
～都市交通体系の再構築、総合的な都市交通体系の再構成～

20世紀の都市整備、都市交通は車を中心に優先権を与えて考えてきた。21世紀を迎えようとして、車を全面的にあきらめる必要も、可能性も小さいが、少なくとも都市・都心部では車との関わり、利用の方法を見直す必要性が高い。本分科会では、車中心の都市整備、都市交通を見直して成果を上げている事例や試みから、次の時代の交通と都市空間のあり方を考える。

パネリスト	コーディネーター	矢作 弘（日本経済新聞）
		望月真一（アトリエU.D.I.）
	リヨンの公共空間政策	ジャン・ピエール・シャルボノ（仏／リヨン都市圏等都市政策顧問）
	オランダの交通政策	稻垣道子 (フェリックス)
	アメリカにみる中心市街地活性化と車問題	野口秀行 (日本インテリジェントトラスト開発研究所)
	車のない日を目指して	寺部慎太郎 (東京大学)
	物流からみた 脱自動車都市のゆくえ	苦瀬博仁 (東京商船大学)

13:30～17:30 分科会B 「今後の都市生活にふさわしい車の使い方、乗り物の技術」

世界規模で環境負荷を減らし、車に依存しない都市と交通とすることは大きな課題である。カーシェアリングやITS、EV車両技術、予約管理システムなど様々なツールが実験的に試みられている。個別には発展性に富むものがあれば、実用と普及のシナリオが見えにくいものもある。車の利用の仕方や新技术はどうあるべきか、今後の都市生活において有効な施策となりうるか等、考えてみたい。

パネリスト	コーディネーター	青木英明（共立女子大学）
		佐伯直人（三井情報開発）
	環境に優しいモビリティの開発とその活用	大聖 泰弘 (早稲田大学)
	カーシェアリング（海外）	加藤武彦 (インターリング)
	カーシェアリング（国内）	小出公平 (トヨタ自動車)
	欧州の環境と交通に係る施策	青木英明 (共立女子大学)
	フライブルク市の「車のない住区」と環境交通施策	マティアス・リュプケ (独／フライブルク市モバイル・自転車ステーション＆モビリティセンター)
	バス、新型路面電車等々の公共交通における最新の動向と運用方策	鈴本文彦 (交通ジャーナリスト)

13:30～17:30 分科会C 「実現への道」～新たな都市交通政策～

すでに多くの都市が「脱自動車都市」を目指して都市政策を開拓している。岡山市や鎌倉市等では公共交通を中心とした新たな試みが始まっているが、法制度や財源等の壁に苦慮しているのが現状である。自動車に過度に依存する都市の危険性を認識し、都市交通の適正な使い分けとそれを可能にする新たな方策を見出し、持続可能なまちづくりを展開するための課題を模索する。

パネリスト	コーディネーター	川上洋司（福井大学）
		上野俊司（オリエンタルコンサルタンツ）
	ドイツの都市交通政策	ズサンネ・エルファディング (独／茨城県守谷町役場総務部企画調整課)
	市民参加のまちづくり	久保田尚 (埼玉大学)
	進化した車／「脱自動車都市」の自動車	内田好美 (内田プランニング)
	21世紀のライフスタイルと交通手段	三浦真紀 (国土開発技術研究センター)

## 出 演 者 プ ロ フ ィ ー ル

### 倉田 直道 (工学院大学)



47年長野県諏訪市生まれ。早稲田大学大学院修士課程  
(都市計画専修) カリフォルニア大学大学院都市デザイ  
ン・プログラム修了。同大学院都市地域開発研究所、H  
KSアソシエーツを経て、現職 工学院大学教授。

39年長野県上田市生まれ。早稲田大学政治経済学部卒  
業後、64年NHK入局。社会部記者を経て89年から  
解説委員。96年解説主幹勇退後、同年4月から現職  
高崎経済大学地域政策学部教授。



### 横島 庄治 (高崎経済大学)



### Peter Newman (Murdoch University)

Professor in City Policy and Director of Institute for Sustainability and Technology Policy  
Formerly Director of Environmental Planning in the W.A. Office of Cabinet, Member of  
W.A. EPA, Metropolitan Planning Council and Board Member of Transperth.  
Involved in federal government programs such as State of Environment Reporting, Better  
Cities and Ecologically Sustainable Development.

43年東京都生まれ。早稲田大学大学院理工学研究科修  
士課程修了。首都高速道路公団計画部、建設省土木研究  
所、建設省建築研究所都市施設研究室長を経て、現職  
早稲田大学理工学部土木工学科教授。



### 浅野 光行 (早稲田大学)

#### ■参加費 (資料代込)

5000円 (2日間共通)、学生無料

#### ■申込み方法

FAX・郵便・E-Mailにて参加者の氏名・所属・連絡先を書いてお申し込み下さい。  
(当日参加も受け付けております)

#### ■問い合わせ・申込み

早稲田大学まちづくりシンポジウム事務局 (担当 赤松宏和)

東京都新宿区大久保3-4-1 早稲田大学理工学部土木工学科中川研究室

TEL 03-5286-3398 FAX 03-5272-9975

電子メール akamatsu@mn.waseda.ac.jp

#### ■会場案内

早稲田大学総合学術情報センター・早稲田大学国際会議場

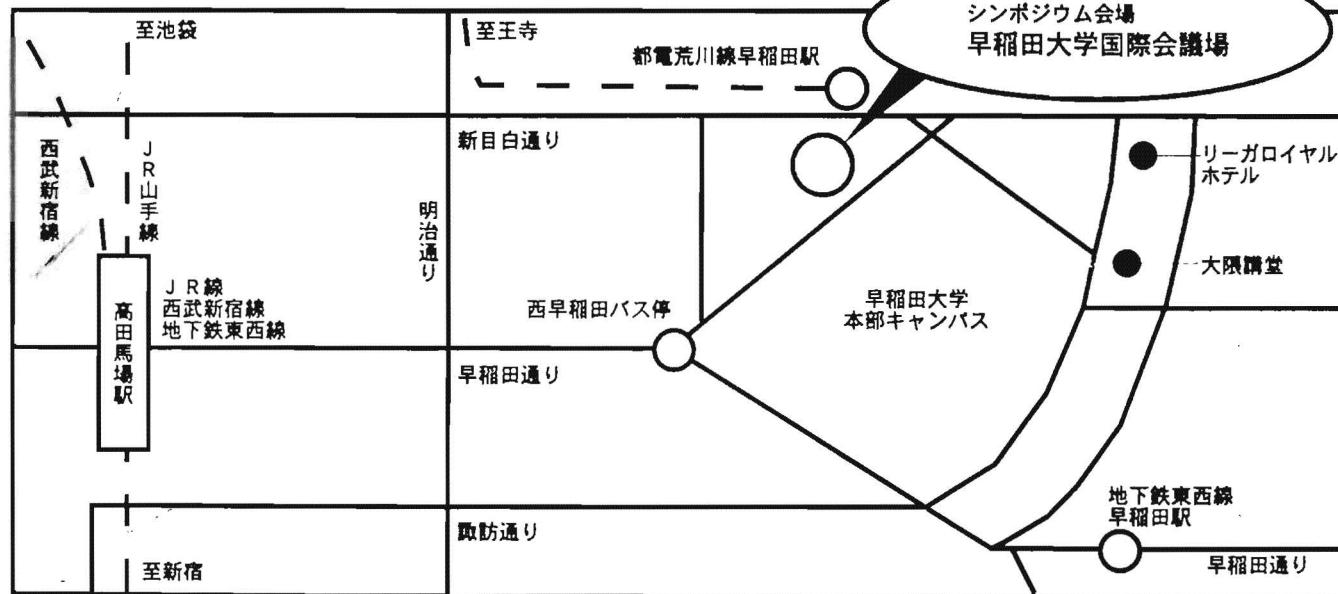
(新宿区西早稲田1-20-14 (阿部球場跡地) TEL 03-5286-1755)

●高田馬場駅 (東京駅より約25分・新宿駅より約5分) より徒歩約15分

△駅前よりバス「早大正門前」・西早稲田バス停下車

●地下鉄東西線早稲田駅 (大手町より約15分、高田馬場駅より約3分) より徒歩10分

●駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮下さい



# FORUM

早稲田都市計画フォーラムは、大学での都市計画・地域計画の教育・研究の支援、  
相互の研究・交流を通じて、新しい形で都市・地域のあり方を求めていこうとする任意の組織です。  
会員 (所属・出身を問いません) を募っています。当日も会員受付をします。